

大学と家庭をむすぶ

GROWTH

後援会通信
グロース
vol. 34
2019
SPRING

特集

TGU
TALK

新しい時代、新たな一歩。
未来につながる学びをつなぐ。

新学長 大西晴樹



TU 東北学院大学

土樋
キャンパス

〔大学院〕文学研究科／経済学研究科／
経営学研究科／法学研究科
〔学部〕文学部・経済学部・経営学部・
法学部（各3・4年）
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1
TEL 022-264-6421（総務課）
FAX 022-264-3030（ ☎ ）

多賀城
キャンパス

〔大学院〕工学研究科
〔学部〕工学部
〒985-8537 多賀城市中央1丁目13-1
TEL 022-368-1116（庶務係）
FAX 022-368-7070（ ☎ ）

泉
キャンパス

〔大学院〕人間情報学研究科
〔学部〕文学部・経済学部・経営学部・
法学部（各1・2年）／教養学部
〒981-3193 仙台市泉区天神沢2丁目1-1
TEL 022-375-1121（庶務係）
FAX 022-375-4040（ ☎ ）

東北学院大学後援会通信GROWTH(グロース)vol.34

発行日／2019年4月
編集／東北学院大学後援会事務局（総務部総務課内）
発行／東北学院大学後援会
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1 TEL 022-264-6411 FAX 022-264-3030
E-mail kouenkai@mail.tohoku-gakuin.ac.jp URL http://www.tgu-kouenkai.org/
制作／Hi creative inc.

GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙-3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に祝されつつ大きく成長するようという期待が本紙に込められています。

【本紙における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】
本紙に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本紙に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本紙の無断転載はお断りしております。

■本紙に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

TU 東北学院大学

<http://www.tgu-kouenkai.org/>

新学長

大西晴樹



新しい時代、新たな一歩。 未来につながる学びをつなぐ。

自分らしく生きるための知識と 経験を積み上げる4年間。

元号が改まるこの春、東北学院大学は新しい学長を迎えます。社会経済史の研究者として多くの著作・論文を出版されている大西晴樹先生（経済学博士）です。前職の明治学院大学教授/学長にあっては、グローバル人材の育成に向けたカリキュラムを積極的に導入するなど、時代が求める、そして時代を先見する試みに果敢に取り組んでこられました。そして舞台は東北学院大学へ。「仙台神学校」(1886(明治19)年開校)にルーツを持つ本学130年余の伝統と実績を、新しい時代につなぐチャレンジが始まります。

幼き日の幸せな記憶と結びつく 「仙台」の街。

この度、東北学院大学学長を拝命いたしました大西です。保護者の方々に本誌を通じまして、ご挨拶を申し上げます。

私は北海道に生まれ育ち、大学進学とともに上京し、(在外研究でイギリスに滞在した期間以外)ずっと東京・横浜で暮らしていますが、「仙台」はとて親しみのある街で、それは幼い頃の幸せな思い出と結びついています。6歳ぐらいの時だったでしょうか、乾電池で動くブリキのおもちゃが流行していました。知的な好奇心が旺盛な年頃です、私はどうしてもその電気仕掛け

のロボットが欲しかったのです。しかし、住んでいた町では取り扱っている店がありませんでした。そんな折、仙台に出張した父が、お土産として買ってきてくれたのです。望外の喜びとともに「仙台」という街の名が記憶に刻まれました。

「東北学院」という大学名も青春の1ページに登場します。SAJ(全日本スキー連盟)スキー検定1級を所持している私は、学生時代、冬の間のアパートとしてスキーの指導員をしていました。その時のインストラクター仲間に、東北学院大学の工学部生(2歳年上、秋田県出身)がいました。とてもスキーが上手な先輩で、その人が描いたシュプールを一生懸命追いかけて滑ったものでした。

スポーツは観戦することも好きです。仙台には野球、サッカー、バスケットボールの(本拠地)チームがあり、盛り上がっているようで、とても楽しみにしています。実は長らく広島東洋カープのファンなのですが、仙台市民となったからには転向しなければなりませんね(笑)。

未来を志向しつつ、過去から学ぶ。

資本や労働力が国境を越えて活発に移動し、世界的な結びつきが強まる“経済のグローバル化”が進んでいます。私が専門とする「社会経済史」では過去から現在へと至る長い時間軸で、経済という現象の原因～過程～結果(因果関係)を探究していきます。そうした視点から考察すると、経済のグローバル化は、16世紀後半に興った大航海時代に起源を發します。当時の交易(あるいは進出した土地での搾取)を支えたのは、外洋航海に耐える大型帆船の出現と羅針盤の発明でした。その後、鉄道、自動車、飛行機が経済活動を推進させる力となり、最近ではインターネットを介した情報の発信・コミュニケーション、また電子商取引や電子マネーが経済活動を駆動させていることは、みなさんご承知のとおりです。このように経済の活性や発展は、技術革新と共にあります。これからの本格的な「AI(人工知能)時代」の到来に向けて、私たち一人ひとりの経済

活動＝働くことをどのように考えていけばよいのでしょうか。

私は、「社会に貢献する」ことが今も昔も変わらない労働の基本であると思います。人の役に立つことで、報酬が得られ、ひいては自分の身を立てていくことにつながります。社会に貢献するために、どのように自分の資質や個性を活かし、持てる知識・技術を発揮していけばよいのか…それを様々な試行錯誤を通じて、学び探るのが青年期であろうと思います。私は学生に「よく学び、よく遊べ」といいます。“よく遊び、よく学べ”ではありません。順番が違います(笑)。学びは、教室や研究室だけではなく、多種多様な人々との出会いによってもたらされることもあるでしょう。アルバイトをしながら社会を知ること、あるいはクラブ・サークル活動でいろいろな役割に徹することも学生時代だからこそできることです。積みあげた経験知から、AIではなく人間だけが担えることを見つけてほしいと願っています。



学歴

1975年 法政大学法学部政治学科卒業
 1978年 明治大学大学院政治経済学研究科博士
 前期課程修了
 1983年 神奈川大学大学院経済学研究科博士
 後期課程満期退学
 1991年～1993年 visiting scholar,
 Regent's Park College, Oxford University
 1996年 神奈川大学 学術博士(経済学)

主な職歴

1993年 明治学院大学教授
 2004年 明治学院大学経済学部長
 2008年 明治学院大学学長
 2012年 学校法人明治学院長(2014年迄)
 2019年 東北学院大学学長 就任

自分を他者の目線で捉えることの大切さ。

私は、学生運動の嵐が吹き荒れた時代(1968年～1970年頃の全共闘運動・大学紛争)に高校時代を過ごしています。大学に入ってからも、各所で過激な党派闘争が繰り広げられており、落ち着いて勉強をするような雰囲気ではありませんでした。そこで社会科学の古典を読み解く読書サークルに参加していたのですが、様々なバックグラウンドを持つ人たちと出会うことで、自分がとても恵まれた立場にあることが認識できました。つまり学生として思う存分、専門性の高い学問に取り組める環境にあるということです。そのうち生涯をかけて研究したいと思えるテーマに出会い、大学院に進みました。そこでは他国の民主化運動を通じ、信仰の持つ力に触れました。以来、キリスト教の教えは、私の精神的支柱、そして確かな導きとなって来ています。

私たちの多くは、自己を絶対化します。もちろん他人の意見に流されず、揺るぎのない信条、行動を貫くことは時に必要なことですが、「自分が正しい、自分が一番」と妄信することは、自己肥大や自意識過剰、傲慢につながります。神(他者)の目線から自身を客観視し、自己相対化することで、社会のなかで生かされているという理解、

社会的存在として
 よりよく生きるために
 必要なことは何か。

また支え/支えられているという実感を得ることができます。私たちは一人で岸辺に立っているわけではないのです。謙虚でしなやかな心で、自分を客観的に見つめる姿勢は、他者とのよりよい関係を築くことにつながります。これは社会的存在である私たちの基盤になるものです。私の場合には聖書を介してですが、学生のみならず自分自身を相対化する機会や場所を持ってほしいと思います。

変わり続ける勇気と決意を抱いて未来へ。

私の研究が、世界観、歴史観、大局観という複数の視点から経済活動を俯瞰する取り組みであることは先に述べました。現代は、のちの研究者たちが“変化の分岐点”と評価する時代になるかもしれません。それぐらい社会の有り様や価値観が大きく変容しています。

私は37年間教壇に立ってきましたが、教育の現場も大きく変わりました。かつては教員から学生にトップダウンで教えるを説く授業が主流でしたが、近年は学生が主体的・能動的にクラスやゼミを展開していくアクティブな学修が導入されています。一方通行から双方向へ、というわけですね。また、フィールドワーク、海外留学・派遣などの異文化体験の支援、就職活動などのサポートも、多彩で充実したものになっています。

激変の時代を生きる強靱な知性としなやかな感性を育むためには、どのような教育が必要なのか、教職員の方々と一緒に考え、実践していきたいと思っています。



新学長解体新書

新学長に聞く
 5つの
 質問

氏名:大西 晴樹
 血液型:AB
 出身地:北海道
 既婚、子ども2人

質問1
 小さい頃の夢は何でしたか？
 それは叶いましたか？

子どものときは奥手で、特になりたいものはありませんでした。学園紛争が吹き荒れた高校時代は、正義感の強いジャーナリストに憧れていました。大学生になると、ゼミの先生の影響で、地方分権をめざすことが大切と思い、地方自治体の職員になりたかったのです。しかし、社会科学の古典を読むようになり、結局、研究者になりました。現在、正邪をわきまえ、大学を運営して行く立場なので、夢はそれなりに実現できていると思います。

質問2
 趣味は何ですか？

文中でも申し上げたとおり、スキーが趣味です。研究室を立ち上げてからはゼミ生と一緒にスキー合宿を催していましたが、最近(私の見立てでは携帯電話の普及に伴って)雪山に出掛ける若者が目に見えて減ってきて寂しい限りです。旅行、スポーツ観戦も好きですね。これからは仙台の歴史や文化を調べながら、広瀬川沿いや風情あふれる街を散策したいと思っています。新鮮な海の幸も楽しみです。

質問3
 これまで最も感銘を受けた感動した書籍・映画・アートは何ですか？

書籍は、専門書でもあるのですが、マックス・ヴェーバー著『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』(岩波文庫)です。人間の内面、宗教に根ざす行動が社会的変化と結びついていることを、これほどまで論じた本は見たことがありません。賛否両論の分かれる学問の書であるとともに、私の愛読書です。映画は、『八甲田山』(監督:森谷司郎、1977年)です。日本映画界の傑作かもしれません。極限状態に置かれた人間がよく描かれています。アートに関しては、レンブラント(1606-1669年)などの宗教画をよく鑑賞します。最近では、東北学院大学出身の宗教画家・渡辺総一のキリスト教絵画に惹かれています。

質問4
 “自己分析”をお願いします。

行動に関しては、少しせっかちで、自己顕示欲の強いほうではないかと思えます。反面、人間関係や研究については、忍耐強いかもしれません。

質問5
 タイムトラベルできるとしたら過去と未来、どちらに行きますか？

歴史研究者なので、職業柄、過去については、思索の翼に乗って、いつでも飛んでいくことができます。これからは東北学院の学生たちと共に未来図を描くことが仕事なので、未来ですね。



2019年度

後援会総会・ 大学開放プログラム

開催のお知らせ

日時 2019年5月25日(土)9:00-16:00

会場 東北学院大学土樋キャンパス

東北学院大学生のご家族様限定で後援会総会・大学開放プログラムにご招待いたします。後援会総会のほか、ご家族様で楽しめる内容となっておりますのでぜひご参加ください。

要参加申込

(webは5月13日より申込いただけます)

2019年度

地区後援会

開催のお知らせ

実施期間 2019年7月～9月

実施会場 全28地区

プログラム 学務部・学生部・就職キャリア支援部からの説明、若手卒業生による先輩体験談(動画上映)、自治体等による地元就職セミナー(地区限定)、昼食、個別面談など

今年も7月～9月にかけて、北は札幌市から南は東京都までの全28地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況報告や個別面談などを行います。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

また、夏休み期間で帰省されているご子女と一緒にご参加いただくこともできます。多数の方々の参加をお待ちしております。

要参加申込

(申込方法は6月中旬に案内予定です)

タイムスケジュール



開催スケジュール

北海道	札幌	8月31日(土)
	弘前	7月13日(土)
青森	八戸	8月4日(日)
	青森	9月8日(日)
秋田	由利本荘	7月20日(土)
	横手	8月31日(土)
	秋田	9月1日(日)
岩手	北上	8月3日(土)
	釜石	8月24日(土)
	一関	8月31日(土)
	大船渡	9月1日(日)
	盛岡	9月7日(土)
宮城	大崎	7月13日(土)
	石巻	7月20日(土)
	大河原	8月24日(土)
	気仙沼	8月25日(日)
	米沢	7月20日(土)
	酒田	7月21日(日)
山形	新庄	7月21日(日)
	山形	8月4日(日)
	鶴岡	8月24日(土)
	相馬	7月13日(土)
	福島	8月3日(土)
福島	会津若松	8月4日(日)
	郡山	9月7日(土)
	いわき	9月8日(日)
新潟	新潟	8月25日(日)
東京	東京	9月8日(日)



参加申込・詳細はwebへGo!

www.tgu-kouenkai.org/meeting/



参加申込・詳細はwebへGo!

www.tgu-kouenkai.org/areameeting/



組合員である学生の生活をより良いものとするため、多彩な活動を行っています。



「大学生協と学生の架け橋的存在」である生協学生委員として活動しています。活動の目的は、学生に大学生協をより良く利用してもらえるようにすること。そのために、生協職員のみなさんと協力しながら、店舗の装飾やフェアなどのお手伝いをしています。12月から3月にかけて開催された「合格者保護者説明会」では、合格者やその保護者のみなさんを対象に、共済や新たにスタートする学生生活について説明させていただきました。最初はかなり緊張しましたが、徐々にまわりを見る余裕も出てきました。こうした経験を積む中で、人前で発表する力、プレゼンテーション能力が向上したと感じています。

name: 石岡 愛子 さん
class: 法学部 法律学科
grade: 2

STUDENT'S VOICE



生協学生委員会は、組合員の生活をより良くするための組織です。東北ブロックや全国の大学の生協学生委員が参加するセミナーなど、他大学の学生との交流も活動の魅力です。

私のイチオシ

ブルーライトカットメガネ
「合格者保護者説明会」といったイベントでは、発表用のスライドもPowerPointで自作します。パソコンと向かい合う時間が長い私にとって、ブルーライトカットメガネは必須のアイテムです。



日本代表の一員として国際親善大会に出場。「Japan」の重みを実感。

name: 加藤 凌我 さん
class: 経済学部 共生社会経済学科
grade: 4



高校時代は硬式野球部に所属。打撃技術など硬式と軟式の違いに最初はとまどうこともありましたが、野球に対する真摯な思いだけはずっと変わっていません。

私のイチオシ

日本代表ユニホーム

胸に「Japan」の文字が刻まれた日本代表のユニホーム。背番号は「22」、希望した3つの番号のうちのひとつです。このユニホームを身に着け、2試合に出場しました。



実技によるセレクションなどを経て、2018年12月に Guam で開催された「全日本大学軟式野球国際親善大会」の日本代表に選ばれました。試合結果は4戦全勝、全試合を無得点に抑えることができました。全国レベルの選手が集まるチームでの練習や試合を通じて、勝つためには何が必要かを改めて考えるようになりました。それは、打ちたい人は打つ、走りたがる人は走るという野球ではなく、勝つための戦術にこだわり、チーム全体で意志統一を図ることの大切さ。理想は、ヒット0本で1点を取り、相手を0点に抑えて勝つ野球です。日本代表としての誇りと経験をチームに持ち帰り、全日本大学選手権や東日本大学選手権での予選突破、そして本戦出場を勝ち取りたいと思います。



はばたく・かがやく
OB・OG訪問



「1杯のコーヒーで地域に明かりを灯したい」

下館和巳教授との出会いから、「演じてみたい！」という思いが生まれた。

教養学部言語文化学科で学ぶ中で、安達さんにとって“転機”とも言える出会いがあった。その相手は、東北弁によるシェイクスピア劇で注目を集める同学科の下館和巳教授だ。「先生の授業やワークショップで衝撃を受けました。人前で話したり、人と接することが苦手だった私に、“演じてみたい！”という強い思いが生まれました」。

“俳優養成ゼミ”の別名をもつ下館ゼミでは、卒業研究としてシェイクスピア劇に取り組む。「私たちの代が取り組んだのは木下順二訳の『リア王』。このエキサイティングな経験が、“常にコーヒーを楽しんでいただけるような接客と、パフォーマンスを心掛けたい”と考える私の土台となっています」。

亘理町の内陸部、里山の風景が広がる一角に安達さんの店舗はある。対面式のカウンターには、自ら厳選し焙煎したコーヒー豆が並ぶ。お客様の好みを聞き、言葉を交わしながら丁寧にコーヒーを淹れる安達さん。「店名の“glim”には、ロウソクの小さな明かり、という意味があります。コーヒーの提供を通して地域に明かりを灯し続けること、それが現在の目標です」。



安達 英和 さん

自家焙煎珈琲豆専門店
glim coffee roaster 店主
(グリムコーヒーロスター)

2011年3月教養学部言語文化学科卒業。東日本大震災直後は被災地の名取市や岩手市でボランティアとして活動。その後、仙台港近くにある被災したコーヒーチェーン店の復旧に携わり、2年間かけてコーヒーのイロハを学ぶ。放送局で番組制作の仕事に就くも2015年に退社、焙煎について学ぶためコーヒー専門店へ。2017年11月、宮城県亘理町に自家焙煎珈琲豆専門店 glim coffee roaster (グリムコーヒーロスター) をオープン。



自家焙煎珈琲豆専門店
glim coffee roaster

- 創立 2017年11月
- 所在地 〒989-2331 宮城県亘理郡亘理町吉田字向山41 TEL/FAX:0223-21-1192 https://www.instagram.com/glimcoffee/
- 営業時間 11:00~18:30
- 定休日 毎週水曜(不定休/土日祝はイベント出店の場合も)

トレーラーハウスを改造して作った店舗で、挽きたて淹れたての1杯を提供。香りやコク、酸味や苦味がそれぞれ異なるコーヒー豆、そうした個性を引き出す最良の焙煎と最良のドリップを信条に、コーヒーのある生活の楽しさや豊かさを伝えている。

障がいを乗り越え、夢に向かう

この春、文学部英文学科3年生になった小椋汐里さん。幼少時の病気から全盲となった小椋さんは、大好きな英語を活かせる職業に就くことを目標に、日々充実した学生生活を送っています。今回は、小椋汐里さんご両親、そして文学部長の村野井仁教授を交え、本学での2年間の振り返りと未来への思いを語っていただきました。



東北学院大学を進学先に選んだ理由

小椋汐里 東北学院大学との最初の出合いは、高校2年生のとき参加した大学説明会でした。複数の大学の説明を聞きましたが、東北学院大学が一番親切で、それまで視覚に障がいのある学生の受け入れはなかったものの、進学を考えている学生がいるということを大学に持ち帰り検討していただけたとの

ことでした。その後、実際に授業を見せていただく機会を設けていただいたのですが、その授業がとても楽しく、学生や教員のみなさんからの声掛けもとても温かく感じられ、この大学を第一志望にしようと決めました。

小椋(父) 大学進学という目標に向かい努力している姿を見ていましたから、その夢を実現させてやりたいというのが、家族の共通の思いでした。目が見え

ないというのは、知らない方にとっては大変なことに映るかもしれませんが、私たちからすると「目が見えないだけ」ということなのです。本人が希望する大学に入学し多くのことを学んでほしい、当時はそんな思いでした。

村野井 視覚障がいのある学生さんの受け入れに向け大学が点字ブロックの増設など施設の面で実際に動き出したのは、汐里さんの合格が決まってからの

ことです。高校2年生の夏に初めてお会いしてから入学までの間に合計9回、汐里さんにお会いする場を設けました。その中でお互いに理解を深め、受け入れるために何が必要なのかを把握し、準備することができました。当初は点字プリンターを購入したり、ずっと汐里さんをサポートする人員を配置したりすることも検討しましたが、一切不要でした。文字文章はテキスト形式にすれば全てパソコンの音声読み上げソフトで読むこともできるし、こちらが思うよりずっと多くのことが自分でできることが徐々にわかってきました。

これまでの2年を振り返って

小椋 これまでの2年間は、泉キャンパス内にある寄宿舍から通学しました。寄宿舍では関心のある分野が異なる他学部の学生とも友だちになり、とても楽しく過ごすことができました。授業に遅れそうになり思わず廊下を走ってしまったときに怒られたことはいい思い出です。怒ってくださる方がいるのも、この大学の良さかなど…。「ちゃんと見てくれるんだぞ」という温かさを感じることができた経験でした。

小椋(母) 幼い頃から料理の手伝いで包丁を使わせるなど、本人がしたいということではできる限りさせるようにしてきました。止めることは簡単ですが、それでは本来自分でできることもできなくなってしまいます。そうした意味でもこの2年間は、とても意味のある2年間ではなかったでしょうか。

小椋 自宅で生活していたときは、学校で過ごす時間以外は両親の助けを借りながらの生活でした。寄宿舍に入り、当たり前ですが自分で朝起きる、友だちのアドバイスを参考にその日着る服を決

める、といった生活を送ってきました。寄宿舍の友人たちが目隠しをして食事をする、ということがあったのですが、その後で「見えないというのがどういことなのか、少し想像できるようになった」と話してくれました。そのとき感じたのは、サポートしてほしいことをしっかり説明することの大切さです。そのことが分かるようになったことは、大きな成長ではないかと思います。

村野井 汐里さんの存在は、まわりの学生たちに学業の面でも良い影響を与えています。教職科目の中で模擬授業を行っていますが、その中で汐里さんは工夫しながら教師役を務めています。授業として立派に成立しており、視覚という面で大きく条件の違う汐里さんが素晴らしいパフォーマンスを見せることに、尊敬の念を抱く学生も多いようです。積極的に取り組もうとする姿勢が、まわりの人たちも動かしていく、そんな好循環が生まれているように思います。何より「好奇心」の強さが汐里さんの成長の原動力ではないでしょうか。

英語力を活かせる仕事に就くことをめざして

村野井 汐里さんは、高校生の時にある英語の小説を原文で読み、その翻訳を2種類読んで翻訳の違いを分析してみ、というほどの高い語学力をもって本学に入ってきました。これから土樋キャンパスに移り、英語英文学のさらなる専門的な勉強をしていくわけですが、今後の成長に私たちも大いに期待しているところです。

小椋 政治や経済に関する授業を受講したことで、異文化コミュニケーションには、その背景にある政治・経済の理解が不可欠ということも学ぶことができました。3年次からは文学翻訳を社

会的な視点から考察する古川弘子先生のゼミに入ります。先生のもとで2年間みっちり勉強したいと考えているところです。

村野井 古川先生は、翻訳の中にジェンダー意識がどのように表われているか、ということも研究されている先生です。英語力を伸ばすだけでなく人間の心や社会を考えていくのが英文科ですから、ゼミの選択でも汐里さんはとてもいい選択をしたのではないのでしょうか。

小椋 いまはまだ、翻訳、通訳、英語教員のどれにも魅力があり、どの道を選ぶかは決めかねています。英語力を活かし自立して生きていけるように、残り2年間の大学生活を充実したものにしていきたいと思っています。

村野井 土樋キャンパスに移る前、キャンパス周辺でのアパート探しのサポートを申し出たところ、汐里さんからは「キャンパス近くのアパートと大学の行き来では世界が狭くなる。福島の自宅から通学することで世界を広げたい」という言葉が返ってきました。安全面への心配はもちろんありますが、この前向きさで道を切り開いていってほしいと思います。本日はありがとうございました。



小椋 汐里 おぐら しおり (写真右)
文学部英文学科3年生

村野井 仁 むらのいひとし (写真左)
東北学院大学文学部教育学教授・文学部長
ジョージタウン大学大学院博士課程修了(Ph.D.)
専門分野:第二言語習得論、英語教育学

ゼミ研究室探訪

学生に求めるのは、
外部の方とつながること。
その経験が
学生を成長させる。

櫻井一弥研究室

工学部 環境建設工学科

櫻井一弥 教授

東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻修士課程修了。SOY source建築設計事務所取締役。一級建築士。2014年から東北学院大工学部教授。

受賞：2008年11月グッドデザイン賞
(日本バプテスト仙台基基督教会)
専門：建築デザイン分野
担当：建築計画Ⅰ、
建築設計製図Ⅲ、建築設計製図Ⅳ



環境建設工学科建築コースにはどんな特色がありますか？

環境建設工学科には「環境土木コース」「建築コース」の2コースがあります。1年次に環境、土木、建築の基礎的な内容を広く学んだ後、2年次からはコースに分かれ、専門的な学びを進めていきます。建築の世界では、「製図で線が引ける」ことが必須のスキルとなるだけに、1年次の製図の授業での得手・不得手が、学生にとってはコース選択の基準の一つになっているようです。建築コースには、建築デザイン、建築計画、建築史、構造、設備の分野ごとに5つの研究室があり、学生はいずれかの研究室に所属して卒業論文または卒業設計に取り組みます。各研究

室の定員を最大8人程度と定め、誰がどの研究室に入るかという調整はすべて学生たちに任せています。学生同士で話し合い、時には自分の思いを主張しながらの調整作業は、建築コースならではの経験だと思います。

先生の研究室ではどんな研究に取り組んでいますか？

研究室の取り組みの一つとして、東日本大震災後の石巻市中心市街地で「街並み調査」を実施しています。復興の過程で空き地が増えたり減ったりしますが、その変化を継続的に記録し、研究としてまとめたいと考えています。調査を開始してから5年が経過していますが、少なく

とも10年は続けたいと考えているところです。私が学生たちに求めるのは「外部の方とつながること」。こちらが知りたいことを伝え、話をお聞きし、課題が示されれば自分なりの回答を用意し、説明をする。そうした経験を繰り返す中で、社会で必要とされるさまざまな力が育つのではないのでしょうか。私の研究室の学生は、グループで卒業論文に取り組むほか、建築系学科の独特の文化である卒業設計を個々に行います。卒業設計では、敷地条件も、建物の大きさもすべて自由。2月上旬の最終発表に向け、最終盤は製図室に連日泊まり込みというような状態になりますね。

学生との接し方で心掛けていることは何ですか？

建築の仕事では、「×日×時までには必ず終わらせる！」というような場面が必ずあります。そこで問われるのは“瞬発力”。学生に対し、様々な課題を通して少し重めの負荷をかけるのはそのためでもあります。図面上で「ここをあと何ミリ伸ばす、縮める」というように、建築の世界は形を具体的に作っていく世界です。そこで大切なのは、曖昧なことを言わないこと。学生への指示は具体的に行い、考えるのはその後で、というのが私のスタイルです。図面であれ模型であれ、自分の手でアウトプットしたものと対話する。建築デザインではそれが重要なのです。



研究室所属の3年生チームが「ランドマークコンペ」で佳作を受賞！

公益社団法人日本建築家協会東北支部宮城地域会が主催する「ランドマークコンペ」で、櫻井研究室の3年生チームが佳作を受賞しました。この設計コンペティションは、宮城県刈田郡蔵王町の遠刈田温泉中心部に計画中のパン屋やカフェ、アトリエなどの店舗に対するサイン計画を提案するもの。宮城県内の建築系大学・高専・高校から11作品の応募がありました。



■作品名「鳥籠」
竹を用いて鳥かごのような建築物をつくり、休憩所として利用されることをめざしました。昼間は竹の隙間から日光が入り、夜は内部の照明の光が竹の隙間から外に漏れ出します。サインとしての機能だけでなく、人が集まることができる空間としてまとめ上げた点が高く評価されました。

環境建設工学科 櫻井研究室
工学部環境建設工学科3年
八島 萌、佐藤 由佳子、遠藤 佳以、高城 那葉、佐藤 春平、星 将太郎、持田 和樹(計7名)

仙台ロフトで自分たちがやりたい企画を実現

経営学部を中心に約30人の学生が参加する「もりまちCoAL」は、2015年6月の株式会社ロフトと本学との連携協力協定締結をきっかけに誕生したサークルです。「CoAL」は「Contribution to Attain Local value」の頭文字で、学生ならではの発想と行動力で地域の価値を高め、地方創生に貢献することを目指しています。

主な活動としては、仙台ロフト内のミーティングスペースで、バレンタインや卒業などの行事に合わせた商品の陳列やワークショップなどを担当。また、持ち込み企画の発表会もあり、「ズボラ飯」や「アイドル応援うちわ作り」など数多くの案が採用されています。「私たちに思い浮かばない企画ばかりでとても新鮮です」と話すのは仙台ロフトの高野さん。

仙台ロフトの初売りで人気の「東北6県福箱」も、「もりまちCoAL」との共同企画です。今年のテーマは「東北の朝・昼・夜」、それぞれのシーンに合わせて各県の名産品を詰め込んだ3種類の福箱はすぐに完売となりました。「これら名産品を通じて、東北の豊かさを再発見してもらえたら」と語る代表の曾根さんと海野さん。自分たちが手にしてうれしいと思うものだけを選び、食品はすべて試食しました。

「もりまちCoALの最大の魅力は、やりたいと思う企画を実際の店舗で形にできること。やればやるほど面白くなってきます。」と目を輝かせる2人。今年度の企画発表会にも自信のプランを提案するため、メンバーとアイデアを出し合いながら準備を進めています。



STUDENT'S VOICE



曾根由佳子さん **海野 真穂**さん
 経済学部経済学科3年 経営学部経営学科3年
 「プレゼンテーションとコミュニケーションの能力が身に付きました。就職活動でも役に立つと思います。」

VOICE



高野 雅博さん
 仙台ロフト販促担当
 「学生さんたちの自由な発想を生かしながら、地域の活性化につながるモノや情報を一緒に発信していきたいと考えています」

年間スケジュール

大学の年間スケジュールをお知らせいたします。

保護者の皆さまにも覚えていただき、ご子女の円滑なる学校生活にお役立てください。

●年間スケジュール中の **土**印は土樋キャンパス、**多**印は多賀城キャンパス、**泉**印は泉キャンパスの日程です。

前期		後期		
2019年 4月	1日(月) 新入生オリエンテーション(～5日)	9月	8日(日) 地区後援会(青森・いわき・東京)	
	3日(水) 入学式		14日(土) 後期授業開始(土多泉)	
	6日(土) 前期授業開始(土多泉)		30日(月) 9月期卒業式	
	13日(土) スプリングカレッジ			
5月	8日(水) 春季特別伝道礼拝(多泉)	10月	9日(水) 秋季特別伝道礼拝(多泉)	
	9日(木) 春季特別伝道礼拝(土)		10日(木) 秋季特別伝道礼拝(土)	
	15日(水) 創立記念日[創立133周年]		13日(日) 大学祭(泉～14日)	
	25日(土) 後援会総会(土) 対青山学院大学総合定期戦(～27日)		19日(土) 大学祭(土多～20日)	
6月	21日(金) 対北海学園大学総合定期戦(～23日)	11月	14日(木) 推薦入試	
7月	13日(土) 地区後援会(弘前・大崎・相馬)	12月	6日(金) 泉キャンパスクリスマス	
	20日(土) 地区後援会(由利本荘・米沢・石巻)		12日(木) 大学クリスマス(土泉)	
	21日(日) 地区後援会(酒田・新庄)		13日(金) 大学クリスマス(多)	
			26日(木) 冬休み(土多泉～1月9日)	26日(木) 冬休み(土多泉～1月9日)
8月	3日(土) 前期授業終了(土多泉) 地区後援会(北上・福島)	2020年 1月	6日(月) 集中講義(土多泉～9日)	
	4日(日) 地区後援会(八戸・山形・会津若松)		18日(土) 大学入試センター試験(～19日)	
	5日(月) 夏休み(土多泉～9月13日) サマーカレッジ(～6日)		31日(金) 後期授業終了(土多泉)	
	24日(土) 地区後援会(釜石・鶴岡・大河原)		2月	1日(土) 一般入学試験 前期日程(～3日)
	25日(日) 地区後援会(気仙沼・新潟)			
31日(土) 地区後援会(札幌・横手・一関)		3月	4日(水) 一般入学試験 後期日程	
9月	1日(土) 地区後援会(秋田・大船渡)		24日(火) 卒業式	
	4日(水) 集中講義(土多泉～13日)			
	7日(土) 地区後援会(盛岡・郡山)			

*日程は変更となる場合があります。



平成30年度 東北学院大学卒業式



卒業生に
サプライズ！ ZENRYOKU BOYS ぜんりょくボーイズ

仙台で活躍中の彼らが卒業式に登場。全力のステージで卒業生を祝福。

去る3月26日、仙台市太白区のカメイアリーナ仙台(仙台市体育館)で平成30年度卒業式が行われました。式に先立ち、仙台市を中心に活動する6人組グループ“ぜんりょく★ボーイズ”が登場、歌と踊りのパフォーマンスで卒業生の門出を祝福しました。“ぜんりょく★ボーイズ”のメンバーのうち、森瞬太さんは経営学部経営学科の卒業生、遠藤大斗さんは経済学部経済学科をこの日卒業するという4年生。晴れの日にふさわしい全力のステージを披露してくれました。

東北学院大学出身でぜんりょく★ボーイズの
森さんと遠藤さんにお聞きしました。



森 瞬太
経営学部経営学科
(2017年3月卒業)

大学4年生の春頃から“ぜんりょく★ボーイズ”としての活動が始まりました。勉強との両立もあり、仕事に100%の力を注ぐことはなかなかできませんでしたが、卒業後は、これしかない、これで成功してみせるという気持ちが強くなり、責任感も出てきたように思います。東北学院大学では、1年生の頃からずっと仲良くしている友人を得ることができました。この間大きな会場でライブを行ったとき、その友人がわざわざ遠方からやって来てくれたんです。そうした人の輪が今も続いていることはありがたいことですし、僕にとって大きな財産だと感じています。やりたい、やってみたいと思えることがあるのは、とても素敵なことだと思います。周囲からどう言われようと、やりたいと思ったらやってみることが大事、というのが僕から贈る後輩たちへのメッセージです。

自分の卒業式のその日に、“ぜんりょく★ボーイズ”として同じステージに立つという貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。社会人としてのスタートを前に、卒業生のみなさんは期待と不安が入り交じった気持ちだと思いますが、そうした思いを共有しつつ、僕たちの歌と踊りで激励できればと考えています。東北学院大学の4年間を通して、多くの友人を得ることができました。大学での学び、サークル活動、アルバイトなどを通して培った人との付き合い方、コミュニケーション能力は、これからの僕の人生にとって確実にプラスになると思います。卒業後は“ぜんりょく★ボーイズ”の活動に集中し、宮城に愛され、宮城を代表するグループを目指します。大学の後輩たちには、自分の心にしたがって行動し、自分の得意なもの、好きなものを伸ばして行ってほしいと思います。



遠藤 大斗
経済学部経済学科
(2019年3月卒業)

キャンパスニュース

NEWS

入学式を挙行了しました

2019年度東北学院大学入学式が4月3日、カメイアリーナ仙台において挙行され、学部・大学院をあわせて2,810名の新入生を迎えました。

大西学長は、「皆さんは今日から新しく自分の専門に即した4年間の学びがスタートしました。4年間で何を学び、自分の未来、地域の未来、世界の未来にどう結びつけ、将来を切り拓いていくのか。大学はそのためのサポートを惜しみません」と告辞を述べました。

新入生総代として登壇した教養学部人間科学科の高橋茉柚さんは、「133年という歴史と伝統ある東北学院大学に入学できることに喜びと誇りを感じるとともに、新たな未来への一步を踏み出すことに身の引き締まる思いを感じています。東北学院大学での学びを通して、自ら新たな事柄に積極的に挑戦しながら、広い視野と高い教養を獲得するとともに、社会で通用するような知恵を身につけ見識を深めたいと考えております」と宣誓しました。

入学式終了後は、後援会入会式、全学ガイダンスが行われ、新入生は本学での大学生活をスタートさせました。



2018年度課外活動団体の主な活動状況

[体育会]

課外活動団体	大会・活動内容	結果
空手道部	東北学生空手道選手権大会(女子形、女子組手)	形優勝(女子)、組手優勝(女子)
弓道部	東北地区秋季学生弓道大会(団体女子)	優勝
剣道部	東北学生剣道優勝大会(団体男子) 全日本学生剣道オープン大会(個人男子)	優勝 優勝
硬式テニス部	東北学生テニス選手権大会(シングルス・男女)	優勝
自転車競技部	全日本大学対抗選手権自転車競技大会(男子ケイリン)	2位
準硬式野球部	東北地区大学準硬式野球春季リーグ戦	優勝
少林寺拳法部	東北学生少林寺拳法大会(団体演武)	第1位
水泳部	東北地区大学体育大会(女子)	優勝
スケート部(ホッケー)	東北地区大学アイスホッケー選手権大会	優勝
ソフトテニス部	東北学生ソフトテニス競技大会(団体男女・個人男女)	優勝
バスケットボール部	東北大学バスケットボールリーグ(女子)	優勝
ヨット部	東北学生ヨット選手権大会	優勝
ラグビー部	東北地区大学ラグビーリーグ	優勝
陸上競技部	東北学生陸上競技選手権大会(男子100M、男子3000M障害、男子やり投げ)	優勝

[学生会、クラブ連、文化会、工学部]

課外活動団体	大会・活動内容	結果・活動等
セツルメント会	西多賀・育児院ワークキャンプ補助	西多賀病院他
応援団	全日本学生応援団連盟本部記念祭	出場
奇術研究会	定期発表会	仙台福祉プラザふれあいホール
写真部	六月展	宮城県美術館
書道研究部	卒業展示会	東京エレクトロンホール
プレクトラムソサエティ	定期演奏会	太白区文化センター
落語研究会	定期落語会	仙台市戦災復興記念館
r e M i x	卒業L I V E	長町RIPPLE他
S W E	卒業定期演奏会	太白区文化センター
クラブ連ヨット部	Y-15級全日本選手権大会	出場
エコパワー研究会	ソーラーバイシクルレース	出場
カート部	全国学生カート選手権大会	出場
工学部 空手道部	全日本理工科系大学空手道選手権大会	出場
柔道部	全日本理工科系学生柔道優勝大会	出場

東北学院大学後援会 資格取得報奨制度

資格取得の奨励と学生の資質向上を目的として、後援会費を納入いただいている現役の大学院生、学部生を対象に、在学中の国家資格取得者やTOEIC、TOEFLIBTなどの基準点取得者へ、資格取得報奨金を給付する制度です。該当する学生の方は、就職キャリア支援課(各キャンパス就職キャリア支援係)備付の申請用紙に必要事項を記入のうえ申請してください。



詳細はwebへGO!

www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/shikaku/bonus.html

学務部より

「知っておきたい授業に関わる用語」

学務部長 加藤 健二

大学生生活の根幹は何といっても授業(科目履修)と単位取得です。そこで、学院大生なら知っておくべき授業に関わる用語を保護者の皆さんにもご紹介します。

シラバス:授業の内容、進め方、成績評価の方法などを細かく解説した資料。教員が学生に対し、記載したとおりに授業を進め成績評価することを約束した「契約書」で、学生はこれを見てどの授業を履修するかを決めます。

キャップ(CAP)制:学生が過度に授業をとり過ぎて、個々の学修が不十分なものにならないように、1年間に履修登録できる科目(単位)数を制限する仕組み。学科ごとに40~44単位に設定されています。教職科目などはこの中に含まれません。

GPA:一言でいえば、「全授業の平均点」。各授業の成績を5段階に分け、それぞれを4~0ポイントに換算して計算されます。

2.5~3.0あたりが平均的。途中放棄した科目は0ポイントとなりGPAをぐっと下げるため、履修をやめた科目は所定期間内に届け出ることが大切です。学修指導のさまざまな場面で利用され、値が2.0をきると注意が与えられます。GPAは成績通知書に記載されています。

MyTG:シラバスの閲覧、授業の登録、成績発表、教員からの連絡など、学生と大学の情報のやりとりに使われるインターネット上の連絡システム。学生はメールアドレス等を必ず登録します。

マナバ(manaba):授業資料の配信、質問と回答、学生同士の討論、レポート提出、出席確認等をスマホやパソコンを用いてインターネット上で行え、その記録を残すこともできる学修支援システム。Responというスマホソフトと組み合わせて、多くの授業で活用されています。

学生部より

「学生食堂の改修・奨学金制度の見直し」

学生部長 石垣 茂光

「学食」と一般的に言われている学生食堂、ここでご飯を食べることはもちろん、授業の合間の休憩や勉強をする場、友達との待ち合わせ場所や、友達との語らいの場であり、大学にとってなくてはならない存在です。本学では90周年記念館の1階にあり、座席数も500席とかなり広くとってありますが、すでに40年以上が経っており、かなり老朽化が進んでいます。そこで、憩いの場にふさわしくリニューアルすることになりました。大学に来た学生の皆さんが少しでも快適に過ごしてもらおう場として考えております。第1期の工事は今年の夏休み中を予定しております。学生の皆さんになるべく影響を及ぼさないように考えておりますが、工事の進捗状況によってはご不便をおかけすることもあるかと思っております。どうぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

奨学金について、国の高等教育無償化政策が実現に向けて進んでおります。その際、授業料の減免措置や給付奨学金については一昨年から

実施しております3L奨学金との関係が生じるものと思われます。そこで改めて奨学金制度の抜本的な改革に着手することとしました。どのような支援策が学生にとって有意義なものとなるのか、様々な検討を加え、実効性のある制度にしたいと考えております。概要が明らかになり次第皆様にお伝えしていきたいと考えております。

課外活動については、昨年度も体育会や文化活動において様々な部が活躍してくれました。活動状況は別に掲載されておりますので、ご参照いただければと思います。また、活動の様子は大学のホームページにリンクされているTG MINDで随時紹介しております。ぜひともご覧いただきますようお願いいたします。

学生部は学生生活全般にかかわる事柄を取り扱う部署です。いつでも、どんなことでも、気軽にお立ち寄りくださるようご子女にお伝えくださればと思います。

TGMIND HP <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/tgmind/>

就職キャリア支援部より

就職支援スケジュール

